

藻鯁亭文庫目錄

今田信一氏資料

河北町立中央図書館

発刊にあたって

河北町名誉町民、今田信一氏は昭和60年2月9日83才でなくなられた。先生は人も知る郷土史研究家で、戦前から小学校勤務のかたわら旧家に残る史料を丹念に集められ、史実にもとづいた「郷土教育」を実践された。また、いち早く「最上紅花」に着目され、その著『最上紅花史の研究』は全国最高水準の研究書である。戦後は昭和25年から谷地町誌編纂事業にたずさわり、合併後は河北町誌編纂委員長として『河北町の歴史』編纂に尽力された。また、山形県史編さん会議員として県史編さん事業に参画されるとともに、近隣の市町史編纂委員にも委嘱されていた。その間先生が購入されたり贈呈を受けた図書・資料はおびただしい数にのぼり、郷土史研究関係の資料は殆んど網羅されているといっても過言ではない。

先生がなくなられたあと、御遺族はそれらの蔵書を郷土史研究に活用していただきたいと、その大半を河北町に寄贈された。町としてはまことに有りがたいことである。先生は自宅を「藻鯨亭」と名づけておられたので、寄贈いただいた図書・資料を「藻鯨亭文庫」と命名して、「河北町立中央図書館」に保存することにした。

目録発刊にあたり、町民の方々に広く活用していただき、郷土史研究がさらに一層充実発展されるよう期待するものである。

昭和62年1月

河北町教育委員会
教育長 兼 子 正 典

解 説

1. 分類の基準

藻鯨亭文庫の全資料を「文庫」「図書」「資料」の三つに大別した。

古文書に類するものを「文書」とし、市販の出版物と自治体や各種機関団体で発行した刊行物類を「図書」とし、その他いわゆる「パンフレット」に類する印刷物や原稿類を「資料」とした。しかし、細部にわたると明確に区分できないものもある。一例をあげれば、「文書」の中にも明治時代の印刷物があり、「資料」の中にも「図書」といえるものがあるなど、その区分に明確な一線を画することはむずかしい。

2. 文 書

この「文書」の目録は昭和61年3月山形県発行「山形県史料所在目録 第5集」に掲載された「藻鯨亭文庫文書」と同じもので、総点数は1766点である。その分類項目は県史編さん室で作成した項目表によることにし、文庫の特色と内容を考え、次のような項目を追加した。

そのひとつは、県の項目「M」は「雑」となっているが、この文書の特色である紅花関係資料が多いことから、それを「M1—紅花生産」「M2—紅花流通」「M3—その他」として、資料をまとめることにした。もうひとつは、資料の中には「教育」関係のものが多いので、「B」に新たに「10」を追加して「B10—教育」とした。

文書の内容を地域的にみると、当然のことながら河北町関係のものが最も多いが、その中で田井村関係のものは今田家に残っていたものが大部分である。今田家の先祖は代々「弥五兵衛」を名のり一時名主を勤めており、残っていた文書も多かった。田井村以外のものとしては、旧谷地町（8カ村）のものが最も多く、溝延村・西里村・北谷地村（吉田村・新吉田村・岩木村）関係のものもある。河北町以外のものとしては寒河江・人間村（現西川町）・大清水村（現天童市）のものも含まれている。

文書の記載内容を分野別にみると、広く各分野にわたっていることも特色のひとつである。分類項目毎にみると「B. 村行政」のみならず「D. 土地」「E. 年貢租税」のほか「G. 農林」「I. 商業金融」「K. 交通」などにもわたっており、当時の社会生活の実態を知ることができる。個人所有の文書の場合、その内容は特定の分野にかたよるのが普通であるが、藻鯨亭文庫の場合は広く社会機能の各分野にわたっている。

分類項目表

A. 支配（領土、支配関係文書）

1. 法令
2. 御用留
3. その他

B. 村政（村の行政、運営関係文書）

1. 村の行政
2. 議定
3. 村法
4. 村役人
5. 村明細
6. 絵図
7. 村方出入
8. 村入用
9. その他
10. 教育

C. 戸口（人口関係文書）

1. 宗門人別帳 2. 五人組帳 3. その他
- D. 土地（村と農民の土地関係文書）
 1. 検地帳・土地所有 2. 名寄帳 3. その他
- E. 年貢・租税（年貢収納関係文書）
 1. 年貢割付 2. 皆済 3. その他
- F. 凶災・救恤（災害・救助関係文書）
 1. 災害 2. 飢饉 3. 貯穀 4. 夫食 5. その他
- G. 農林・水産（農林・水産関係文書）
 1. 農産物 2. 耕作 3. 畜産養蚕 4. 林産物 5. 漁業 6. その他
- H. 水利・土木・工業（河川・用水・手工業関係文書）
 1. 治水 2. 水論 3. 土木 4. 建築 5. 紡織工業 6. 鉱山業
- I. 商業・金融（商業と金融関係文書）
 1. 商業一般 2. 金子借用 3. 質地証文 4. その他
- J. 林野（山林・原野関係文書）
 1. 御林 2. 百姓株 3. 秣場 4. その他
- K. 交通（助郷・宿場・運輸関係文書）
 1. 陸上運輸 2. 河川運輸 3. 海上運輸
- L. 寺社（寺社関係文書）
 1. 寺社書上 2. 寺社領 3. その他
- M. 紅花・雑
 1. 紅花生産 2. 紅花流通 3. 雑
- N. 私文書（私的文書）
 1. 日記 2. 家系 3. その他

3. 図 書

図書の分類は「日本十進分類法」（新訂7版）により、「000総記」から「900文学」までの10部問からなる。叢書・全集等は、一タイトルを一件とし、特に冊数を明記しないものは一冊である。

4. 資 料

「資料」の内容は雑誌をはじめ展示会目録・新聞切抜・原稿・謄写刷資料等多岐にわたっており、「図書」同様日本十進分類法に基き「42」の項目に分類した。

この中で特筆すべきことは何と云っても「14紅花関係資料」59点で、紅花に関するものは細大もろさず集められている。ついで点数として多いのは「23教育関係資料」62点、「12河北町郷土史関係資料」58点で、いずれも貴重な資料である。

目 次

古 文 書

A. 支配（領土、支配関係文書）	1
B. 村政（村の行政、運営関係文書）	7
C. 戸口（人口関係文書）	21
D. 土地（村と農民の土地関係文書）	24
E. 年貢・租税（年貢収納関係文書）	30
F. 凶災・救恤（災害・救助関係文書）	36
G. 農林・水産（農林・水産関係文書）	38
H. 水利・土木・工業（河川・用水・手工業関係文書）	43
I. 商業・金融（商業と金融関係文書）	46
J. 林野（山林・原野関係文書）	60
K. 交通（助郷・宿場・運輸関係文書）	61
L. 寺社（寺社関係文書）	63
M. 紅花・雑	66
N. 私文書（私的文書）	71

図 書

0 0 0 総 記	73
1 0 0 哲学・宗教	76
2 0 0 歴史・地理	79
3 0 0 社会科学	103
4 0 0 自然科学	117
5 0 0 工 学	118
6 0 0 産 業	119
7 0 0 芸 術	126
8 0 0 語 学	129
9 0 0 文 学	130

資 料	139
-----	-----